第 34 回　地域を活かす科学技術政策研修会 in 愛媛

ー　地域資源から未来産業へ　ー

日　時：　2027 年 2 月 9 日 （火）13:00～19:00　全体会議・交流会
　　2027 年 2 月 10 日（水） 8:00～16:30　現地視察（四国中央市・今治市）
会　場：　愛媛県県民文化会館　第 6 会議室
　　〒790-0843 愛媛県松山市道後町 2 丁目 5 番 1 号
開催形態：1 日目　全体会議・交流会　現地参加
　　2 日目　現地視察　現地参加
主　催：　公益財団法人全日本科学技術協会（JAREC）
共　催：　国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）予定
　　国立大学法人愛媛大学
後　援：　内閣府　予定
　　愛媛県
　　松山市、四国中央市、今治市
　　株式会社伊予銀行
対　象：　地方自治体・公設試験研究機関等の職員、民間企業・大学・高専・国研等研究機関における研究者・産学官連携従事者、および地域を活かす産学官連携・産業政策にご関心のある方
定　員：　1 日目　全体会議　現地 100 名／交流会 60 名
　　2 日目　現地視察　60 名（大型バス 2 台）
　　※訪問先企業の意向によりご希望に添えない場合があります。
参加費：　無料　※交流会 @4,000 円、2 日目昼食代は実費／現地までの交通費は各自負担
申　込：　JAREC ホームページより申込み　※定員となり次第締切

１．開催の目的とねらい

本研修会は、我が国の地域創生に向けた科学技術・産業振興の施策説明や、地域の未来価値創造に向けた新たな産業振興の取組等を参加者と共有し、地域産業振興・イノベーション創出のきっかけとすることを目的として、毎年度開催しているものです。

愛媛県は、紙・素材、造船・海運、水産、果樹をはじめとする農業、繊維など、産業の裾野が広いことを大きな特徴としています。愛媛開催の第 34 回は、紙・海事・水産・果樹の 4 分野を切り口として取り上げ、県・市町・地域金融機関・地域企業のそれぞれが、産業を軸に地域の将来像をどのように描いてきたかをご紹介いただきます。併せて、他県の先進事例を、条件の異なる地域における「地域デザイン」の進め方を比較できる構成としました。全国からご参加いただく皆さまが、自地域に持ち帰れる示唆を得られる場としたいと考えています。

２．テーマ

「地域資源から未来産業へ」

３．プログラム概要

【1 日目】2027 年 2 月 9 日（火）全体会議　愛媛県県民文化会館 第 6 会議室

挨拶	13:00～13:10
① 第１部「戦略 17 分野（危機管理と成長投資）」	13:10～14:10
国の産業施策（３府省庁）	
② 第２部「地域資源から未来産業へ」	14:10～17:00
事例紹介（紙産業技術センター・愛媛大学・伊予銀行・大王製紙）	
③ 交流会（会費@4,000 円）	17:30～19:00

【2 日目】2027 年 2 月 10 日（水）現地視察　四国中央市・今治市

松山市内より大型バスにて出発	8:00
④四国中央市	9:30～12:00
愛媛県紙産業技術センター（四国中央市）	
大王製紙株式会社	
⑤今治市	13:30～15:00
株式会社新来島どっく	
松山駅・松山空港にて解散	16:30

（別紙 1）

【1 日目】2027 年 2 月 9 日（火）　全体会議　愛媛県県民文化会館　第 6 会議室

12:30　　受付開始

13:00～13:10　開会挨拶

公益財団法人全日本科学技術協会　理事長　土屋 定之

愛媛県／松山市（調整中）

第 1 部「戦略 17 分野（危機管理と成長投資）」

13:10～13:30　施策説明①　内閣府

科学技術・イノベーション推進事務局　追而

「科学技術・イノベーション政策の動向と地域科学技術振興」（仮） 重点分野の話

13:30～13:50　施策説明②　経済産業省

経済産業政策局　地域経済産業政策課　課長　森本　要　氏

「地域経済産業政策の展開と地域中堅・中小企業の成長支援」（仮）

13:50～14:10　施策説明③　農林水産省

農林水産省　農林水産技術会議事務局　研究推進課産学連携室　室長　今西　直人　氏

「農林水産省における産学官連携施策について」（仮）

第２部「地域資源から未来産業へ」

14:10～14:30　基調講演①

愛媛県

「愛媛県の産業振興戦略と地域デザイン」（仮）

〔概要〕追而

14:30～14:50　基調講演②

国立大学法人愛媛大学　学長　仁科　弘重　氏

「地域産業とともに進化する大学」（仮）

〔概要〕追而

14:50～15:05　休憩

15:05～15:20　JAREC 活動報告

15:20～15:40　地域事例紹介①

愛媛県産業技術研究所　紙産業技術センター　センター長　大橋　俊平　氏

「日本一の紙のまちの地域デザイン」（仮）

15:40～16:00　地域事例紹介②

愛媛大学　南予水産研究センター長　後藤　理恵　氏

「地域とともに育てる水産イノベーション
― 愛南町・愛媛大学の連携から描く養殖業の未来 ―」（仮）

16:00～16:20　地域事例紹介③　地域金融によるイノベーション支援
株式会社伊予銀行　執行役員　佐藤　浩一　氏
「海事クラスターを育てた地域金融の力とグローバル展開」（仮）

16:20～16:40　地域事例紹介④　地域企業の新素材事業と地域共創
大王製紙株式会社　生産部門新素材事業推進室 CNF グループ
部長　大川　淳也　氏
「産学連携が生んだ新素材事業」（仮）

16:40～17:00　総括・2 日目のご案内
公益財団法人全日本科学技術協会　事業統括部長　齋藤　太郎

17:30～19:00　交流会（会費@4,000 円）
会場：愛媛県県民文化会館　第５会議室
愛媛県産品・地場食材によるご歓談、参加者間の情報交換

（別紙 2）

【2 日目】2027 年 2 月 10 日（水）　現地視察　四国中央市・今治市

8:00　松山市内出発

9:30　四国中央市 着

9:30～12:00　視察①・②

視察①　愛媛県産業技術研究所　紙産業技術センター（四国中央市）

所在地：四国中央市妻鳥町乙 127

[内容]　センター概要説明、実験室・試作設備の見学、機能紙等の展示、紙産業イノベーションセンター（愛媛大学）と紙産業技術センター（愛媛県）との連携状況など

視察②　大王製紙株式会社　三島工場（四国中央市）

所在地：愛媛県四国中央市三島紙屋町 5-1

[内容]　三島工場概要説明、CNF 生産ラインの見学・CNF 製品の展示

※企業からのご参加につきましては、予め大王製紙の承諾を得た方となります。

※2 班に分かれて移動します。

【A 班】30 名

09:30～10:30　愛媛県産業技術研究所　紙産業技術センター

10:45～12:00　大王製紙株式会社　三島工場

【B 班】30 名

09:30～10:30　大王製紙株式会社　三島工場

10:45～12:00　愛媛県産業技術研究所　紙産業技術センター

12:00～13:30　バス移動（四国中央市 → 今治市）※車中食

13:30～15:00　視察③

視察③　株式会社新来島どっく　大西工場（今治市）

所在地：愛媛県今治市大西町新町甲 945 番地

[内容]　建造ドック・生産現場の見学、愛媛大学 船舶海洋工学センターコンソーシアムとの共同研究など

16:30　JR 松山駅・松山空港にて解散

以　上